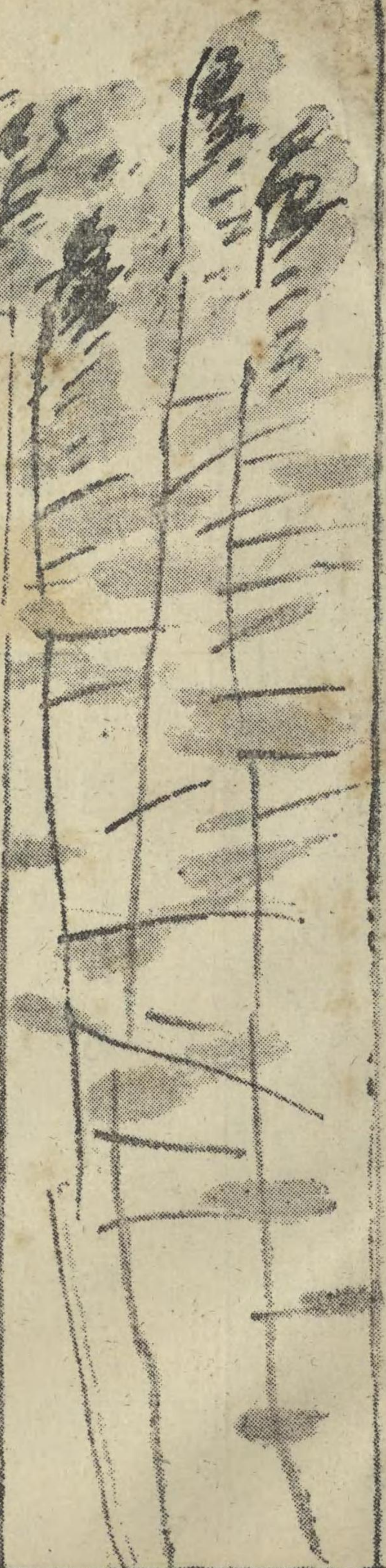


423  
305

# 亞細亞大觀



## 金福鐵道沿線の史蹟

(關東州) 百三十五回  
十二輯ノ五

駱駝石	一
伏見宮殿下御上陸記念碑	二
伏見宮殿下御宿泊所	三
端午節風俗	四
貔子窩紅嘴堡城	五
西城子屯の古墳	六
盤龍山潮海寺(1)	七
盤龍山潮海寺(2)	八
石佛寺	九
永安臺	一〇

金福鐵道沿線の考古學的價值

三宅俊成

大連市山縣通一九三

發行所 亞細亞寫真大觀社

電話(2)六二三五番  
振替大連七一八番

(毎月一回發行)

版權所有 不許複製

編輯人 大連市山縣通一九三 青山春路  
 發行人 同 島崎役治  
 發行所 同 亞細亞寫真大觀社





所泊宿御下殿宮見伏

伏見宮の御下殿宮見伏の御宿泊所は、征露第二軍の第一師團長陸軍中将伏見宮貞愛親王殿下が、五月八日此の地の南方海岸、沙嶺子港小河口に激浪の間を御徒涉御上陸遊ばされたことを、永遠に記念する爲めに、御上陸最初の御宿泊の地に昭和八年碑を建て、伏見宮殿下御上陸記念碑と題す。書は武藤元帥である。

(印畫の複製を禁す)

碑念記陸上御下殿宮見伏

本碑は金福鐵道簡易驛宮之宿に在り、征露第二軍の第一師團長陸軍中将伏見宮貞愛親王殿下が、五月八日此の地の南方海岸、沙嶺子港小河口に激浪の間を御徒涉御上陸遊ばされたことを、永遠に記念する爲めに、御上陸最初の御宿泊の地に昭和八年碑を建て、伏見宮殿下御上陸記念碑と題す。書は武藤元帥である。

(印畫の複製を禁す)

(亞細亞大觀十二輯五回)



(亞細亞大觀十二輯五回)





### 端午節風俗

本寫眞は金福沿線杏樹屯驛の南、征露第二軍の上陸地の一である小河口の部落で撮影したものである。滿洲では舊五月五日端午節の時、民家では各々門口に桃の枝に布製の猴子を懸す風がある。猴子は邪を拂ふ力があるものとされ、又猴子の両手にさげた小箒は病氣を掃除するに云ふ寓意を持つものである。

(印畫の複製を禁ず)

(亞細亞大觀十二輯五回)

本城は鏡子窩宋家屯會西城子屯にあり、西









石

石佛寺は贊子河會に在り、本殿に釋迦及石佛東殿に藥王、西殿に天后を祀る。石佛寺の名は嘉慶年間重修の際、山崖より石佛を得て之を祀る故なりと云ふ。石佛寺天行宮尊七七

(二) 潮海寺

潮海寺の門外の西側の松林中に、九聖祠、鏡樓、古碑等がある。九聖祠には雍正十三年の鐵磬があり、廟前に半ば埋れたる古碑は磨滅して全く判讀することが出来ない。併し年號を書く處に大明らしく見ゆる字がある。果して然るか。此の地松風を聞き清遊に適してゐる。

(印畫の複製を禁ず)





石 佛 寺

石佛寺は賛子河會に在り、本殿に釋迦及石佛東殿に藥王、西殿に天后を祀る。石佛寺の名は嘉慶年間重修の際、山崖より石佛を得て之を祀る故なりと云ふ。石佛寺天后宮碑に此の記あり。石佛寺金色盤龍山朝海寺之下院建於有明。前清嘉慶時重修。斯廟興工之日得石佛於山崖。因以名焉。即今佛所供之石像是也。境内に嘉慶年間等の古碑がある。

(印畫の複製を禁ず)

(亞細亞大觀十二輯五回)

(二) 海 寺

滅して全く判讀することが出来ない。併し年號を書く處に大明らしく見ゆる字がある。果して然るか。此の地松風を聞き清遊に適してゐる。

(印畫の複製を禁ず)

(亞細亞大觀十

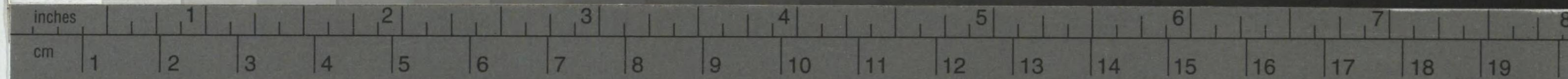


# Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

**A** 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



# Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

